

国連大学サステナビリティ高等研究所

プログラムアソシエイト 丸山 鳴



SDGsのアイコンでライトアップされる国連本部ビル(ニューヨーク) UN Photo/Cia Pak

地域から世界へ、世界から地域へ

～GEOCプロジェクト～

2015年9月に国連に加盟する193カ国は、世界の貧困、飢餓、不平等、紛争、気候変動の問題を解決し、より良い未来を目指すための目標「国連持続可能な開発目標(SDGs)」に合意しました。17項目あるこの目標は、途上国も先進国も取り組むべき項目から構成され、達成期限は2030年となっています。この大きな目標は世界の共通の目標ですが、ひとりひとりの身近な活動が目標達成のカギとなります。また、SDGsで取り上げられている課題は、お互いに関係していることから、解決には分野や立場を越え様々な人が協力する必要があります。

地域と世界をつなげるGEOC

地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)は、国連大学と環境省が共同で実施するプロジェクトです。GEOCは、様々な人とのつながり(パートナーシップ)による課題の解決を軸に、地域の取り組みと国際的な取り組みをつなげる活動を推進しています。それらの活動の一環として、国内の環境に関する情報を国際的に発信するとともに、国際的な課題を日本国内に普及するための啓発活動を公開イベントなどを通じて行っています。2016年には、主に地域の課題とSDGsをテーマとしたイベントを開催しました。イベントでは、SDGsの課題は多くの地域が抱える課題と共通していること、地域の課題や身近な課題に取り組むことがSDGsへの貢献につながること、目標は相互に関係し合っているため、17項目のどれか1つの目標に取り組むことが他の目標に貢献することにもつながること、目標17に掲げられているパートナーシップがすべての目標に共通して重要であることが確認されました。

地域から世界へ、世界から地域へ

SDGsは世界の共通の言語であり、SDGsを意識することにより、地域から世界へ、世界から地域へと同じ課題を持つもの同士がつながることができます。GEOCは今後も、様々なパートナーシップ促進活動を通じて、地域の現場の取り組みと国際的な取り組みをつなげる活動を、市民社会、学校、国際機関、研究者、企業などさまざまな人々と連携して実施していきます。また、東京・青山の国連大学本部ビル1FのGEOCスペースでは、セミナースペースの無料貸出のほか(情報ポータルサイト「環境らしんばん」の会員登録が前提)、NPO・NGOの情報コーナー、環境にかかる書籍を集めた環境ライブラリー、SDGsや時期にあった環境課題のパネル展示コーナーを設けています。また、企業の社会貢献活動とNPO・NGOのマッチング相談などにも対応しています。お近くにお越しの際はぜひGEOCスペースに立ち寄ってみてください。



2016年10月に開催したSDGsと地域のパートナーシップに関するシンポジウムの様子



国連大学1FのGEOCスペース